

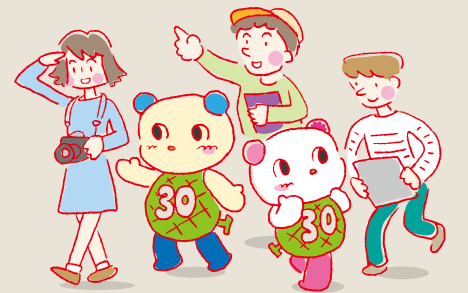
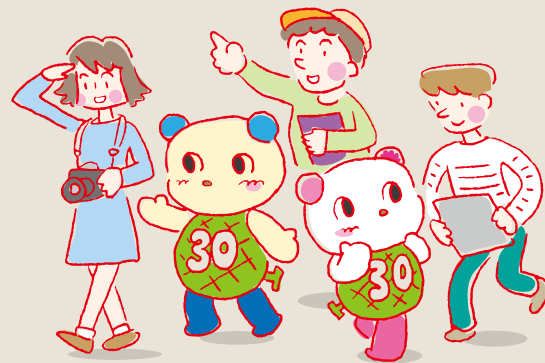
(仮称)
宮前区の
「希望のシナリオ」
実現プロジェクト

平成30(2018)～令和元(2019)年度
市民創発の取組の軌跡

これまでの取組で見えてきた
区内の豊かな活動の広がり。

さらに広げていくにはどうしたらいいか、
「区民をつなぎ・活動を支える」宮前らしい
支援のしくみについて、実際の活動現場からの
気づきを踏まえて、みんなで検討を
深めていきます。

あなたも検討に加わってみませんか？



これまでの取組・今後の動きなど、
詳しくは区ホームページへ。

宮前区 希望のシナリオ 検索

(仮称) 宮前区の
「希望のシナリオ」実現プロジェクト
平成30(2018)～令和元(2019)年度
市民創発の取組の軌跡

2020年3月発行

発行：川崎市 宮前区役所まちづくり推進部企画課

〒216-8570 川崎市宮前区宮前平2-20-5
TEL：044-856-3133

制作：(株)石塚計画デザイン事務所



はじめに

川崎市では、コミュニティの10年後を考える「希望のシナリオ」を掲げ、7つの区ごとに多様な主体が連携しながら、その実現に向けた方策を考えてきました。

宮前区は、「(仮称)宮前区の『希望のシナリオ』実現プロジェクト」と称して、区民のみなさんと区役所と一緒に考え、街に出て発見したことやミライにつなげるアイデアを考えながらトライ&エラーを重ねて進めています。

その取組の経過をご紹介します。

もくじ

- 01 はじめに
- 02 これからのコミュニティ施策の基本的考え方
- 03 宮前区の「希望のシナリオ」実現プロジェクト
- 04 2018～2019年度の取組のまとめ
- 06 これまでの取組
- 07 ● 宮前区の活動相関図をつくろう
- 08 ・ 宮前区活動相関図ができるまで
- 10 ・ 宮前区活動相関図
- 13 ● 6つの現地ツアーで現場を体験
- 14 ・ キックオフミーティングでの企画づくり
- 16 ・ マップ版活動相関図&現地ツアー全体マップ
- 18 ・ 現地ツアーのプログラムと訪問先
- 20 ・ 開催レポート
- 56 ・ 現地ツアーのふり返しから見てきたこと
- 58 | 活動の手助けになるかも?! アイデア
- 62 | 資源カードを使ってみよう!
- 71 これからのアクションを考える
- 73 市民創発を促す「アクション」シート集
- 74 みやまえ取り組み隊 NEXT チャレンジ





川崎市これからの コミュニティ施策の 基本的考え方

地域に広がる「まちのひろば」

川崎市のコミュニティの「希望のシナリオ」(下図)は、概ね10年後、2028年の川崎市が目指す、多様なつながりや居場所【まちのひろば】を創出し、幸福度が高く、誰もが認められる持続可能な都市型コミュニティをイメージしたものです。

この図は平成30(2018)年度に各区で開催した市民検討会議ワークショップ等で、市民の皆さんからいただいたご意見を基に作成されたものです。

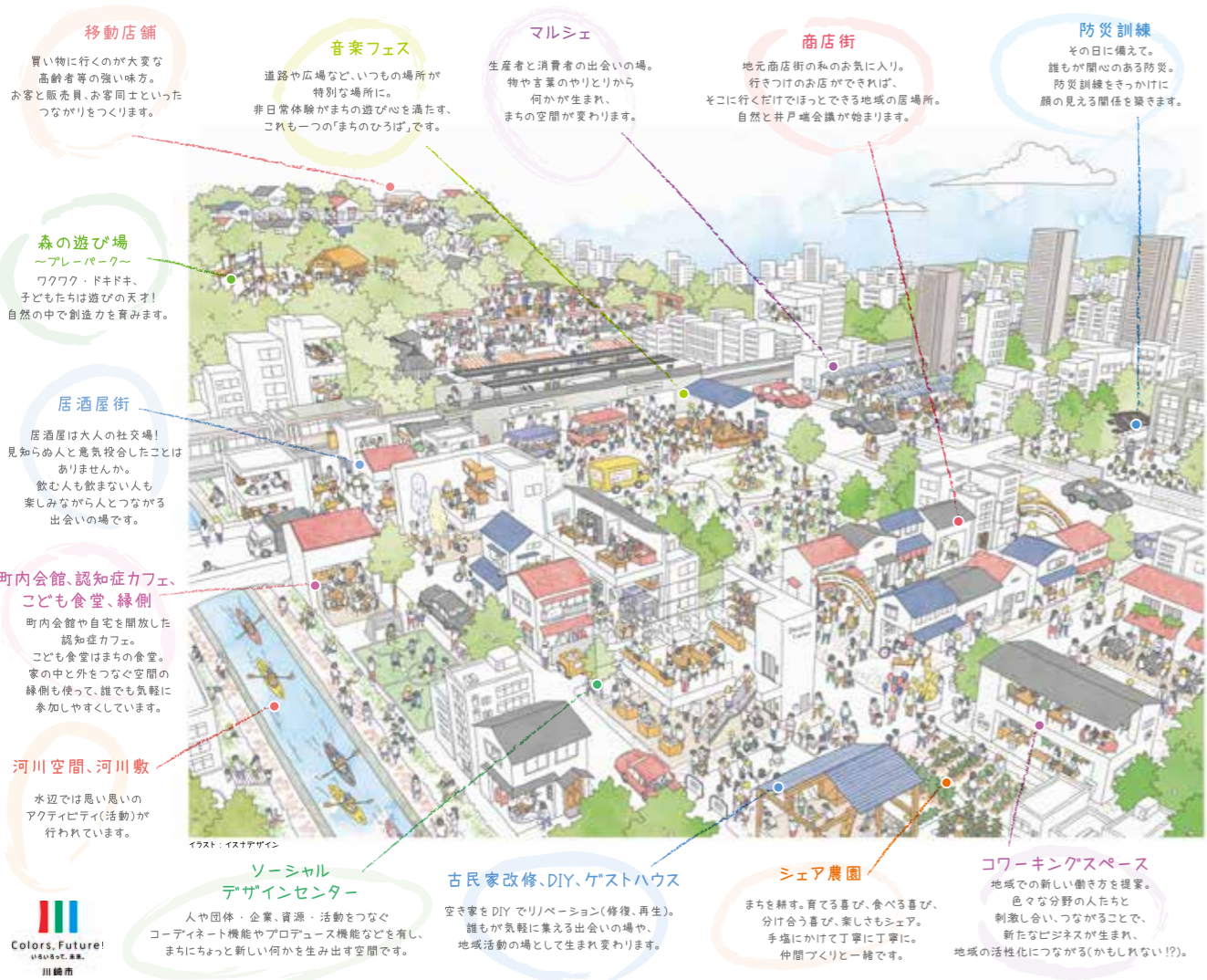
「希望のシナリオ」の実現に向けて

川崎市では、希望のシナリオの実現に向け、多様な主体の連携により、「市民創発」による持続可能な暮らしやすい地域を実現するため、「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」をまとめました。



市民創発とは？

色々な人や団体が出会い、つながることで様々な化学反応が起こります。この化学反応がこれまでにない活動や予期せぬ価値を創出します。このポジティブな相互作用により、暮らしやすい地域をつくります。



イラスト：イスナデザイン

「希望のシナリオ」実現に向けた主な取組

市民、事業者、川崎市等が協力し、「希望のシナリオ」実現に向けて、様々な取組を行っていくことで、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域を目指す「地域包括ケアシステム」の構築にもつなげていきます。

地域レベル 地域の居場所「まちのひろば」の創出

誰もが気軽に集える出会いの場として、官民間問わず、多様な地域資源を活用して、「まちのひろば」を創出し、人材・資源のネットワーク化や情報共有の促進、地域課題の解決等に取組とともに、市民のつながりの向上を図ります。

区域レベル 区域レベルのプラットフォーム「ソーシャルデザインセンター」の創出

市民創発によって課題解決を行うため、地域での様々な新しい活動や価値を生み出し、社会変革(ソーシャルイノベーション)を促す基盤(プラットフォーム)を創出します。

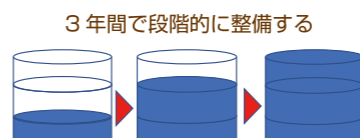
宮前区の 「希望のシナリオ」実現プロジェクト

宮前区 具体的な進め方

ポイント①

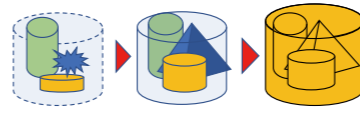
いつまでに何をつくるか最初に決めないのが「肝」

これまでの行政手法



- ・計画的に進行
- ・硬直的・安定感
- ・先が見通せる
- ・きっちり感
- ・与えられたモノ

今回のやり方



- ・仮に結果は同じでも、プロセスは異なる
- ・計画性が低い
- ・流動的・不安定
- ・先行き不透明
- ・ワクワク感
- ・自分たちのモノ

宮前区ではどう進めるか？

本市のコミュニティ施策は、各区の実情に応じて進めています。

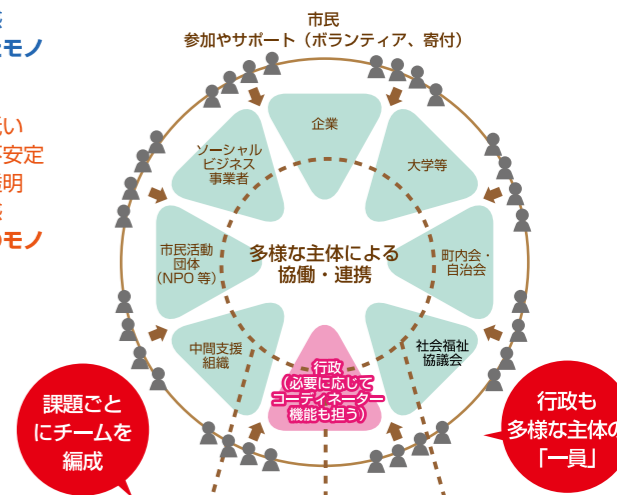
では、宮前区の地域特性は？という点、区民の活動が盛んで、**区民は行政の2歩も3歩も先を行っている**ことです。このため、宮前区の誇る「豊かな市民活動・地域活動」をまずは区民と職員が学び合うところから始めました。区内には、防災や美化活動などの地域活動、コミュニティカフェ、まちなかでのマルシェ、川や公園での自然とのふれあいなど、多彩な活動が広がっています。こうした活動のつながりを「活動相関図」(P6)にまとめる過程で、分野ごとに多彩な活動があり、数多くの団体が様々な場所で実施していることが分かったものの、知っているのは一部であることに気がきました。

そこで、**活動の現場に行って話を聞いてみる「現地ツアー」**を行うことからはじめ、**まちのひろばを活性化させるしくみをみんなで考える「ミーティング」**を通してトライ&エラーで進めていきます。

ポイント②

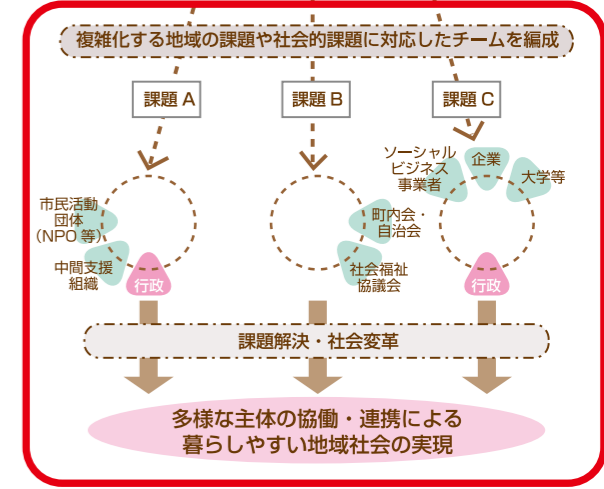
行政も多様な主体の「一員」
区民のみならずと一緒に考えます

目指すべき社会の「これからの」イメージ
(川崎市協働・連携の基本方針より)



課題ごとにチームを編成

行政も多様な主体の「一員」



「希望のシナリオ」実現プロジェクト 2018～2019年度の取組

平成30年度 (2018～2019年)

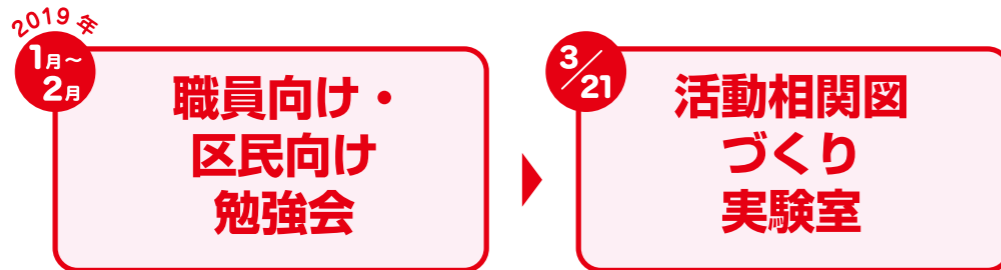
平成30年度は、宮前区内にある活動を洗い出し、それらのつながりを明らかにする取組からはじめました。まず職員の中で知っている活動や資源を勉強会で出し合い、それをたたき台に区内で活動している区民のみなさんとさらに情報を出し合いました。それらを元に、3月には活動の「つながり」を確認し「活動相関図」をつくり、それらのつながりを強めるための企画アイデアを出し合うワークショップを開催しました。

宮前区内での 豊かな活動の広がりを再確認

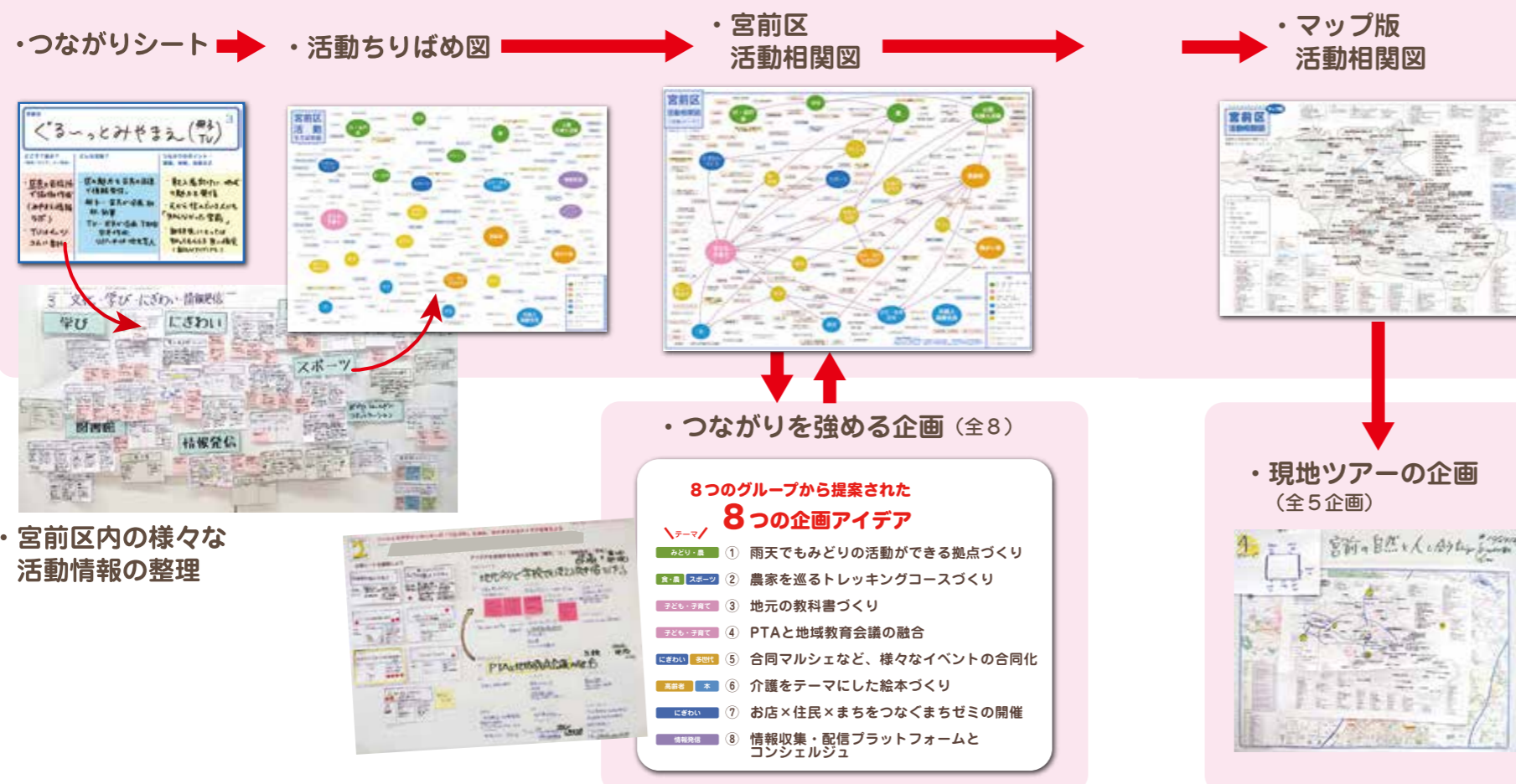
目的

- ▶ 宮前区内の活動やつながりを明らかにしよう
- ▶ つながりを活かすために必要な役割や機能を考えよう

取組



成果



令和元年度 (2019～2020年)

令和元年度には、区内で様々な活動をしている区民等の「みやまえ取り組み隊」が始動し、キックオフミーティングで、実際に現場で活動の様子を見たり、話を聞いたりする「現地ツアー」を企画。できあがった「活動相関図」とその情報を地図に落とした「活動相関図マップ版」を見ながら、見に行きたい、見に来てほしい活動を出し合い、区職員がツアーにアレンジしました。6日間のツアーには区民・職員等100人以上が参加し、34の活動を学ぶことができました。さらに、現地ツアー報告会では、見つけてきた地域資源を活かす「市民創発を促すアクション」を考え、協力者を募りました。今後は、いくつかのアクションを「NEXTチャレンジ」としてスモールスタートしてみるなど、実際の活動からの気づきを踏まえて、宮前らしい中間支援機能について、一緒に考えていきます。

活動現場の体験・資源の再発掘

- ▶ 活動の現場に行って話を聞いてみよう
- ▶ 活動がさらに豊かになるしくみを考えよう
- ▶ できることからスモールスタートしよう



みやまえ取り組み隊
NEXTチャレンジ始動(予定)